





地域交通・買い物アクセスプロジェクト

～京都府北部における生活者のための多様なモビリティ～

2024年3月1日（金）
 学生とともにのぼす京都プロジェクト成果報告会
 大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科
 指導責任者：野村 美 / 府内活動地域：京丹後市、舞鶴市



2. 地域交通・買い物アクセスプロジェクトの活動概要

①交通政策チーム	②共助交通チーム	③新モビリティチーム	④買い物アクセスチーム
 <p>✓ 活動地域：主に京丹後市全域 ✓ 活動内容：自家用車と公共交通の「共存方法」を考え、定額制（サブスク）の導入を提案した</p>	 <p>✓ 活動地域：主に丹後町（一部舞鶴市） ✓ 活動内容：「ささえ合い交通」はいかにして持続可能になるのか、継続的な調査をもとに考えた</p>	 <p>✓ 活動地域：主に峰山・大宮地域（一部舞鶴市） ✓ 活動内容：“mobi”がいかにして市民に定着するか、実際の乗車やヒアリング等をもとに考えた</p>	 <p>✓ 活動地域：主に大宮町常吉地区 ✓ 活動内容：“つねよし百貨店”をフィールドに、買い物弱者の多様な側面について考えた</p>



4. 活動を通じた気づき②買い物アクセス編

➤活動開始当初は買い物弱者＝高齢者のみというイメージであったが…常吉地区での活動を通じて、**子どもたちや若年層もまた「買い物弱者」に含まれる**ということがわかった



➤「子ども百貨店」のイベント開催を通じて、子どもたちにとってつねよし百貨店は**放課後に立ち寄れる場所（ニサードプレイス）**で、幅広い年代の**住民と交流できる場**であることがわかった



6. 活動をふまえた今後の課題



- 1年目の今年度は、地域交通・買い物アクセスに関わる課題を知るため、政策や実践に関わる人々に話を聞いてきたが、**住民の方々の具体的な困りごと**については十分に把握できなかった。
- 今後は、各チームで作上げた提案・提言を地域の方々と共有しながら、**実際に交通や買い物で困っている方々にも話を聞きながら**、生活者のための多様な移動手段や、買い物アクセス確保に向けた方策について考えていきたい。



1. プロジェクトの背景と目的

- 地域公共交通の廃止による**住民生活の移動手段の問題**や、「**買い物弱者**」問題を背景として、京丹後市を中心に京都府北部でフィールドワークを実施
- **交通政策・共助交通・新たなモビリティ・買い物アクセス**の4つのテーマに分かれて、それぞれの課題解決方法を導き出すために活動を実施
- 1年目のプロジェクトとして、まずは**京丹後市での課題を知り、取り組む人に話を聞くこと**に焦点を当てた



京丹後バスが廃止、大阪の「生活の足」維持が危機的状況に... 課題に直面する地域の公共交通



「閉店したら困る…」“買い物弱者”都会でも増加

3. 活動を通じた気づき①地域交通・モビリティ編

➤京丹後市には上限200円バスやささえ合い交通、mobiなど多様な移動手段があるが、**公共交通は自家用車に比べて不便**という認識がある

	Standard 3,000円	Student 3,000円	Basic 7,000円	Premium 12,000円	ささえ合い 交通プラン 12,000円	Light (公共機構 のみ) 0円
京丹後線鉄道	○	×	○	○	○	×
丹海バス	○	○	○	○	○	無料チケット 2枚
ささえ合い 交通	×	×	×	×	○	×
mobi	×	○	○	○	○	月1回半額
自家用車	×	×	5%	10%	×	×

➤しかし高齢化の進む京丹後市では**公共交通が「生活者」にとってますます不可欠なもの**に：たとえば、公共交通定額制（サブスク）の導入や、モビリティ・ミックス*の推進も重要になる！



*モビリティミックス…地域公共交通に加えて、自家用車も含めた全ての移動手段を組み合わせること。



5. 課題解決に向けた「提案・提言」の作成

①「政策研究交流大会」への出場

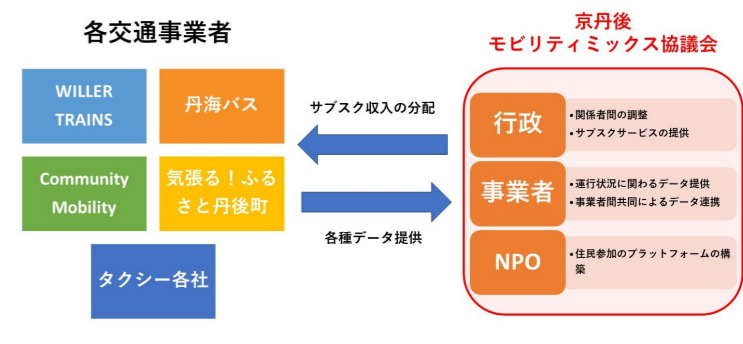
コンソーシアム京都主催の大会に4チームが出場し、テーマに応じた政策提言を作成、発表した



政策研究交流大会での報告の様子

②チーム活動から派生した懸賞論文への応募

プロジェクト学生のうち1名が、活動をもとに懸賞論文*に応募し、「**地方部におけるモビリティミックスの提案**」の題で、**2023年度優秀賞**を受賞



論文内での「モビリティ・ミックス」の提案



2024年3月1日（金）
 学生とともにのぼす京都プロジェクト成果報告会
 大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科
 地域交通・買い物アクセスプロジェクト